



2020年11月11日

各位

会社名 株式会社Sun Asterisk
代表者 代表取締役 小林 泰平
(コード4053:マザーズ)
問合せ先 担当者 服部 裕輔
電話番号 03-6419-7655

2020年12月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年7月31日に公表した2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の業績予想を下記の通り修正することを決議致しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年12月期通期業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,120	百万円 710	百万円 726	百万円 640	円 銭 18.38
今回修正予想(B)	5,307	849	876	765	21.80
増減額(B-A)	187	139	150	125	3.42
増減率(%)	3.7	19.5	20.5	19.4	18.6
(ご参考)前期実績	4,529	474	486	410	13.17

2. 修正の理由

当社グループは、あらゆる産業のデジタルイノベーションを促進するため、新たな事業やプロダクトを共創するサービスを「デジタル・クリエイティブスタジオ事業」と命名し、単一セグメントである当事業を「クリエイティブ&エンジニアリング」と「タレントプラットフォーム」の2つのサービスラインに区分し取り組んでいます。当期は、東証マザーズに上場した2020年7月31日に、業績予想として売上高5,120百万円、営業利益710百万円と予想し公表いたしました。

当期の第3四半期累計実績は、主力の「クリエイティブ&エンジニアリング」の売上高は顧客数、顧客単価ともに堅調に推移し、3,186百万円（前年同期比34.2%増）となり、新型コロナウイルスの影響を受けて売上高が782百万円（前年同期比19.7%減）となった「タレントプラットフォーム」の不足分をカバーして、全体の売上高は、3,936百万円（前年同期比18.5%増）と成長を続けています。

また、積極的な人員採用を進め受注増加に対応する一方、生産性の向上により販管費比率は低下し、営業利益は694百万円（前年同期比111.1%増）となりました。また各段階の利益は7月31日時点の業績予想に対する進捗率についても100%前後と達成がほぼ確実な状況となっております。

以上の状況より、第4四半期の業績見通しを加算し、本社移転及び両国スタジオ開設等のコストも勘案して、2020年12月期通期の業績予想の見直しを行いました。

2020年12月期通期の売上高は5,307百万円（前年同期比17.2%増）、営業利益は849百万円（前年同期比79.2%増）、経常利益は876百万円（前年同期比80.3%増）、当期純利益は765百万円（前年同期比86.5%増）を予想しております。

【業績予想に関する留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。